

エーデルワイス通信

6月号

2023年5月31日発行 制作 坂井印刷

自分から始まった人生！
道産子根性を忘れず
地域でねばこく生きよう！



お知らせ



緑濃く、太陽もより一層力を増し夕方には、夕陽の美しさに誘われ、ついどこまでも追っていききたい気持ちになる美しい季節になりました。しかし、時には気温の低下が数日続き、夜勤帯では布団掛けや毛布を1枚かけるなど健康状態配慮に努めさせていただいております。また、介護保険が今年で24年目に入り、まもなく高齢者の4人に1人が認知症となる時代になり、地域で暮らし続ける為には地域づくりと共に、**どこにも属さない地域相談員**（在宅で暮らし続ける為の各関係機関の地域代弁者:薬の服薬状況と反応、暮らしにおける困難等）が必要と感じることが多々あります。それは資格を持つ、職から退いた人や、地域住民からの育成でも可能な人材もいるでしょう。同時に自分等も、認知症の人等が、一日も長く地域で暮らし続ける為にも、目の前のご利用者やご家族とのより良い関係づくりに邁進したいと考えます。

総施設長



機能訓練重視型デイサービス 華蓮(かれん)



華蓮では、午前中の体操や棒体操の他に、機械訓練や音楽に合わせての歩行訓練の実施で体を動かし、午後から一度休息の時間を取ることで、動きの時間と休みの時間を作り、メリハリのある生活を送っていただけるようレクを行っています。時には、麻雀を囲んで交流されたり、ビンゴ大会では、オリジナルビンゴカードを作成し参加することでとても好評のレクとなっています。希望時には買い物支援や外出支援を行い、気分転換を図っています。

ものわすれ専門デイサービス エーデルワイスⅢ号館

今月、Ⅲ号館では、外出支援を行いました。若松のフラワーパラダイスに出かけています。「外の空気は、いいねえ。」「久しぶりに、緑いっぱいの景色見た。」「お花が綺麗だね。」「嬉しい。」ととても喜んで頂けています。希望を叶えるカードを持参し、100円ショップにも出掛け、買い物支援も実施しています。かごを持つ足取りも軽く、「今は、何でも売っていて、びっくりした。」とお言葉ありました。

母の日にお渡しした、手作りカーネーションのプレゼントに皆様の笑顔を沢山見ることが出来ました。



ものわすれ専門デイサービス エーデルワイス五号館



今月も皆様お元気に通所されています。一人一人の状態に合わせて体操行い、レクリエーションではビンゴやトランプ（神経衰弱）行っております。

おやつ作りでは、饅頭やパンケーキ一緒に作ってみんなで食べました！「自分で作ったらおいしいね～」と笑顔で仰って下さりました。洗濯物干しや食器拭きなども皆様に手伝って頂きました。

また、身体機能維持・向上の為、マッサージや機械を使った血流促進運動等行っております。

来月は外出支援、買い物支援に出かける予定です。

グループホーム エーデルワイス

5月の行事にて、『母の日』お祝いの会を1・2番地行いました。スタッフの手作り母の日カードやご家族様より届いたプレゼントにて「嬉しいね〜^^ありがとう!!」「こんな素敵な母の日は久々だよ〜」などと喜びの言葉が多く聞こえてきました。スタッフも一緒に喜びを頂く場面でした。

日々の機能訓練より、階段昇降訓練・歩行訓練・立位保持訓練・両下肢マッサージ等も継続支援中ですが、2番地N様・T様「階段かい??頑張ります!!!」「できるよ〜」とイキイキと実施されました。

1番地歩行訓練では、S様「ハイハイのチャンチャンチャーン♪」とリズム弾みながら実施にて笑顔。M様「ステップ♪ステップ♪ターンターン^^」とダンスしていた時の事を思いだしつつ歩行訓練実施中です。ベッド上での可動式訓練や両足のマッサージも実施や看護スタッフの連携のもと継続的に実施しています^^



訪問介護事業所 エーデルワイス



生活支援では利用者様と掃除をしながら談笑することがよくありますが、皆様笑顔で昔の話を聞かせて下さいます。訪問サービス時は常に利用者様の健康状態を意識しながら提供させていただいています。

サービス付き高齢者向け住宅 エーデルワイスシンフォニー

シンフォニーでは、消防訓練を行いました。非常口までの避難誘導、消火器の使い方など実践しました。

新規でご利用者様の入居、数日後には奥様も入居になりました。ご夫婦での入居に仲睦まじい笑顔が見られました。



有料老人ホーム エーデルワイス



有料老人ホームには、北見市に籍のある方は、地域密着型グループホームの待機となっている方が多くいらっしゃいます。認知症初期から中期の混乱期が見られる方には、狭い空間が落ち着きを取り戻す利点もあります。ただ、医療が優先するような暮らしの困難は周りの方も巻き込むため、医療との適度な連携が必要となり、専門医受診から専門医が必要と認めた場合には訪問看護と連携となる場合もあります。また、認知症を患う人の多くは、アルツハイマー、脳血管認知症、レビー小体型認知症と数種類の認知症を同時に患う方もおり、様々な症状がみられますが、何と云っても、元々の性格が症状に出られる方もおります。

柔軟な心をもつこと、怒らず、笑顔で過ごせる努力が必要なようです。『はい』。(^^)/受容します。

編集後記

希望をかなえるカードを使い、図書館やら買い物に出かけ自ら直接、人を介さず購入や本の案内もいただき、自立心が高まっております。

何よりも、人とのかわりからの親切がとても心に響いているようで、背後で見守るスタッフも嬉しくなります。

このカードが、自然と浸透され、命にかかわる部分でも役に立てば良いねーと、現場で話しあっています。

Ⅲ号 佐藤

どうぞ、家族様もご利用の方は申し出てください。



きたほっと食堂

5月のきたほっとも、最終は『ちらし寿司』となりました。卵が購入できず遠方まで車を飛ばしやっと1ケース手に入りました。来月も2回、予定しております。高齢化に伴い、ボランティア調理人も募集中です。第2土曜・第4火曜日、午前中営業中です。

